



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第56号
令和4年4月15日

さまざまのこと思ひ出す桜かな (松尾芭蕉)

私達は、1年が終わり、新しい1年が始まる、ちょうど区切りで意味深い時期に桜を見ます。「きれいだな」とはもちろんと思いますが、それだけではないものを感じてしまう、これまでのさくらに纏わる色々なことを思い起こしてしまう、そういうことがあるようです…。

子供たちには、これから何度も迎えるであろう桜の季節に「自己実現」を実感しつつ、地域と国際社会に貢献できる存在に成長してくれることを願っています。

最近コロナウイルスの動きが、また気になり始めました。第7波…。1日も早いコロナ禍の収束を祈りつつ今年度もこの事業だより「人を育て 地域を創る」を発行していきたいと思います。本事業に関わっていただける皆様の活動の一助になれば幸いです。



令和4年度がスタートします!!

よろしくお願いします!!

4月4日(月)、令和4年度玉名市地域学校協働活動推進員委嘱状交付式



【教育長挨拶より抜粋】

…より幅広い地域住民や団体に参画していただけるよう、今年度は中学校区ごとの「地域の人づくり講座」や本事業担当教職員との合同会議を開催します。
…地域と学校との緊密な連携・協働のもと、校区で連帯感を高め、子供たちの成長に何が重要であるかを地域で共有し、学校を核とした地域づくりに取り組んでいただきたい…

4月4日(月)は令和4年度の「地域学校協働活動推進員委嘱状交付式」でした。

玉名市では、平成30年度に6校区、地域学校協働活動推進員(これ以降、「推進員」と呼ばせてください)2名で本事業が始まりました。その後、令和2年度に市内全小・中学校21校区に22名の推進員さんを配置して本年度を迎えました。その間、それぞれの校区で特色を活かした様々な活動が展開されています。それらの活動は、地域と学校の連携・協働を進めるキーパーソンとして推進員さん方の存在なしでは語られません。

はじめは、「何をやらたいいの?どのようにやらたいいの?」という手探り状態からのスタートだったように思われます。ご苦労をおかけしました。それに加えてこのコロナ禍です。本事業開始以前から長年にわたり築いて来られた伝統的な営みや新しく構築しようとされた試みが制限され、歯痒い思いをされた推進員さんや学校も多かったと思われます。

その厳しい状況の中、他にもたくさんの用件をお持ちだろうに、安全安心に留意し創意工夫を凝らしながら、子供たちのために、地域のためにとこの事業を進めてくださる推進員さんの存在は有り難いものです。感謝申し上げます。また、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指されている学校も大変苦心されたことでしょう。

新しく2名の推進員さんを迎え、令和4年度がスタートしました。配布した「令和3年度玉名市地域学校協働活動実施報告書」をみるとたくさんの成果が報告されていますし、改善すべき点もあります。それらについては、次号以降で触れようと考えています。



【委嘱状交付】



【教育長挨拶】



【新推進員さんへの説明会】

「出会いの花咲く学びの場」
を創いましょう!!



裏面あり

お届けします!!

活用をお願いします!!

「地域とともにある学校づくり」に向けたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進(熊本県教育委員会作成DVD)」の配付

- ◇ 玉名市では、昨年度から市内全小・中学校に学校運営協議会が設置されました。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、それぞれが持つ役割を十分に機能させ、一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。
- ◇ 3月末、上記DVDを各校1部ずつ配付しています。学校の先生方の研修や保護者・地域の方々への周知等に活用していただくようお願いします。

「地域学校協働活動のチラシ(熊本県作成)」の配布

- ◇ 4月4日(月)の推進員さんへの委嘱状交付式の際、熊本県が作成した「地域学校協働活動」のチラシを推進員さんに20部ずつ配布しました。地域の方やボランティアの方に地域学校協働活動の説明をされるときなどに活用していただくようお願いします。
- ◇ 学校へは昨年度の PTA 数を参考にしてお届けしました。学校の先生方に研修や保護者・地域の方々への周知等に活用していただくようお願いします。
- ◇ チラシが不足するようなことがあればご一報(75-1312)ください。刷り増してお届けします。

「令和3年度地域学校協働活動実施報告書」の配付

- ◇ 昨年度末、地域学校協働活動実施報告書の原稿作成をお願いしたところ、ご多用の中、ご協力をいただきありがとうございました。冊子にまとめましたので配布しております。今年は「地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的推進」の観点から市内全小・中学校の学校運営協議会委員全員分も作成しました。配布・活用をお願いします。
- ◇ この報告書には、皆様の知恵と汗が凝縮されています。そして、子供たち、地域ボランティアの方々、推進員の方々、学校の先生方の笑顔が浮かんできます。今後の方向性も示されていますので「報告書」としてだけではなく、「手引書」としても活用してください。
- ◇ 今年度末も同じような形式で作成する予定ですので、データの蓄積をお願いします。

3つのお願い!!

よろしくお願いします!!

「令和4年度版地域ボランティアバンク」の完成

- ◇ 昨年度末、地域ボランティアの作成のためのデータを送っていただき、ありがとうございました。おかげで令和4年度版ができました。ただ、個人情報漏洩防止の観点から、冊子にしての配布は控えます。ニーズがあれば本部事務局(75-1312)まで連絡していただければ繋がります。ご理解、ご協力、ご利用をお願いします。

「中学校区推進員連絡会」について

- ◇ これからも中学校区毎に推進員連絡会を開催していただくようお願いします。同席させていただくと、推進員さん方の熱い想いがヒシヒシと伝わってきます。推進員さん方の声を直接お聞きできる貴重な機会ですので、事務局も可能な限り同席させていただきたいと思っています。連絡(75-1312)をお待ちしています。

「授業参観・事業参観」について

- ◇ 子供たちの息遣いを直に感じたいです。推進員さん方、地域ボランティアの方、学校の先生方にお会いしてその想いに接したいです。可能であれば授業や事業の様子を参観させてください。連絡(75-1312)をお待ちしています。

＝編集後記＝

この激動の時代、先が見通しにくい混沌とした時代です。そんな世の中を生きていかなければならない、そして社会を支えていかなければならない現在の子供たち。この子供たちが、数十年後にどのようなことを考え、どのように行動するのか、それがこの「地域学校協働活動」の答えなのだろうと思います。

「教育は国家100年の大計」です。社会をつくるのは「人」です。「出会いの花咲く学びの場」を通して「人」を育て「地域」を創っていきましょう。「地域」を育て「人」を創っていきましょう。将来の社会、子や孫、その先さらに続いていく未来の創り手に対する先行投資です。

今、日本の教育は、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念で動いています。

どうか、これからも、ご理解、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第57号
令和4年5月2日

春風や 闘志いだきて 丘に立つ (高浜虚子)

この時期、毎年のようにこの句を紹介しています。私のお気に入りです。「苦難の時期を乗り越え、草原の丘に立ち、温かく穏やかでありながらも爽やかさを感じる春の風を受けながら、強い決意を抱き、凜とした姿で未来を見つめている・・・そのような情景が浮かんできます」と書くのも例年と同じです。

昨年度、「推進員さんたちが気持ちよく動いていないのではないか?」「学校の先生方に負担感があるのではないか?」「この事業は機能しているのか?」などの声が届いてきました。他にも、「地域の方々への周知が足りない」「地域ボランティアの発掘が難しい」などという課題もありました。

「さて、どうしたものか・・・」と首を捻っていると、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」がそれらの課題の解決の糸口にならないか、と考えるに至りました。如何でしょうか?



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

「文化」を創りましょう!!

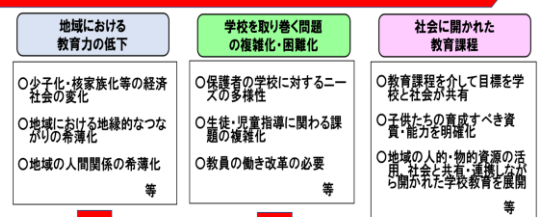
なぜ今、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が必要なのか

地域では、少子化・核家族化等の経済社会の変化、地域における地縁的なつながりの希薄化、地域の人間関係の希薄化等による地域社会の停滞や教育力の低下が指摘されています。

学校では、保護者の学校に対するニーズの多様化、生徒・児童指導に関わる課題の複雑化、教員の働き方改革の必要等から学校を取り巻く問題が複雑化・困難化しています。

そうした状況の中、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要です。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の時代背景と必要性



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるために

Step① 学校運営協議会

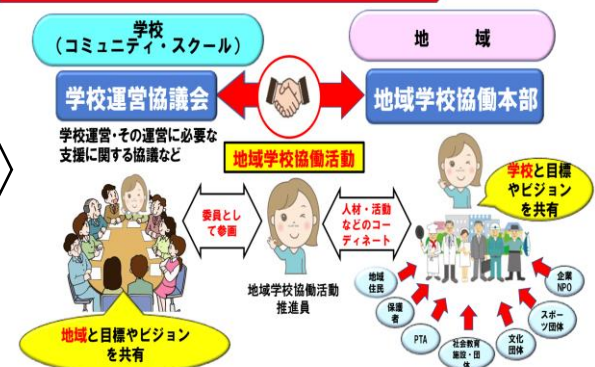
関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議等がその役割を果たします。

Step② 地域学校協働本部

Step①の結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。

学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



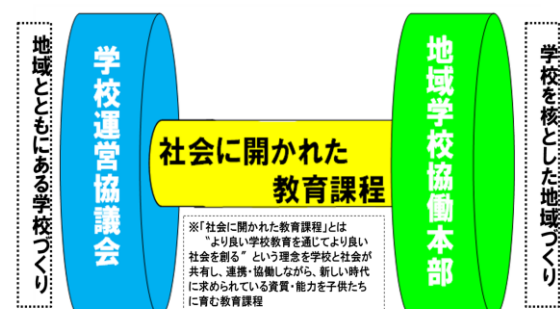
「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

次代を担う子供に対してどのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が連携・協働し改革が進められています。そこでは「学校運営協議会(地域とともにある学校づくり)」と「地域学校協働本部(学校を核とした地域づくり)」がその改革の両輪で、その両輪をつなぐ「軸」が「社会に開かれた教育課程」です。両輪の一体的推進が「社会に開かれた教育課程」の実現につながります。

※「社会に開かれた教育課程」とは

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という理念を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子供たちに育む教育課程

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



裏面あり

「地域学校協働活動」の効果例

【子供たちにおける効果】

- ◎「〇〇ができるようになって嬉しいです。」
- ◎「自分も地域の一人として、少しでも地域の力になれるようになりたいです。」
- ◎「地域の方と気軽に挨拶ができるようになりました。」
- ◎「中学生になったら、小学生への読み聞かせをしたい。」

【学校における効果】

- ◎「子供たちの登下校時に声をかけてくれる方が増えて、見守りの効果が高まりました。」
- ◎「学校教育だけでは教えられないことも、地域の方から数多くのことを学ぶことが増えました。」
- ◎「教職員の働き方改革につながります。」

【地域における効果】

- ◎「そろばん講座のおかげで、学校では“そろばん先生”と呼ばれ嬉しいです。」
- ◎「地域の祭に中学生が企画・運営に入ってくれるので、これからは引き継がれていくことでしょう。」
- ◎「学校に行く機会が増えて、地域の仲間も増えました。」

地域学校協働活動の効果は？

子供たちにとっていいこと

- ①ふるさとへの理解と愛情、地域の担い手としての自覚が高まります。
- ②コミュニケーション能力が向上します。
- ③自己肯定感や他人を思いやる心など、豊かな心が育まれます。

学校にとっていいこと

- ①地域の中に、教育活動に対する理解者、支援者が増えます。
- ②地域資源を活かした効果的な授業づくりが進むとともに、「社会に開かれた教育課程」への具体化が図られます。
- ③継続的な学校支援体制が整います。

地域にとっていいこと

- ①地域住民等の生き甲斐や自己実現の機会がつけられます。
- ②地域づくりの担い手が育成されるとともに、地域の教育力が向上します。
- ③地域コミュニティ再生につながります。

事業だより「人を育て地域を創る」発行計画

発行予定	内 容
4月号（4月中旬）	事業の概要 等
5月号（5月上旬）	事業の概要 等
6月号（6月上旬）	事業の概要 等
7月号（7月上旬）	放課後子ども教室の活動紹介
8月号（8月上旬）	玉名中校区（玉名町小、築山小、滑石小、玉名中）の活動紹介
9月号（9月上旬）	玉南中校区（八嘉小、伊倉小、玉南中）の活動紹介
10月号（10月上旬）	玉陵中校区（玉陵小、玉陵中）の活動紹介
11月号（11月上旬）	有明中校区（大浜小、豊水小、横島小、有明中）の活動紹介
12月号（12月上旬）	岱明中校区（大野小、睦合小、鍋小、高道小、岱明中）の活動紹介
1月号（1月上旬）	天水中校区（玉水小、小天小、天水中）の活動紹介
2月号（2月上旬）	年間の総括的内容
3月号（3月上旬）	年間の総括的内容

寄せられた情報をもとに「事業だより」を作ります。よろしくお願いします！！

- ① 各校区の活動の様子を事業だよりで紹介していきたいと思います。活動の様子を写真に撮り、写真のタイトル（〇年生の～、◇◇の学習、☆☆の時間、△△活動等）や子供、地域ボランティア、地域学校協働活動推進員、担任や地域連携担当職員等のコメントを蓄積しておいてください。
- ② 上の「事業だより発行計画」をご覧ください。発行予定の前月に本部事務局からデータ提出のお願いを発信しますので、それに依って提出をお願いします。
- ③ データの提出先は、community@city.tamana.lg.jp です。
- ④ 皆様から寄せられた情報等をもとに事業だよりを作っていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ⑤ 変更の希望やご意見、お尋ね等がありましたらコミュニティ推進課 ☎75-1312 までお寄せください。

＝編集後記＝

ある校長先生から聞いた話です。「地域学校協働活動をやっていると、地域の方が涙を流しながら子供たちに『ありがとう』とおっしゃいました。するとそれを受けた子供たちが『ぼくたちがお世話になっているのに、なぜ地域の方がお礼を言われるのだろう…？』と考えていました…」

子供たちに今はその答えは見つからないかもしれませんが、成長しながら地域の方の想いを推し量ることができるようになっていくことでしょう。そして社会の担い手となっていく。そのようなことが営々として営まれていく中で『文化』が生まれていくのだと思うわれます。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第58号
令和4年6月1日

今日が今年最後の「五月晴れ」かな、と思いつつ庭に出ると、青葉が茂る近くの林からホトトギスの鳴き声が響いてきました。あとは鯉ですが…。

目には青葉 山ほととぎす 初鯉 (山口素堂)

夏の季語が3つ、調子よく詠み込まれ、快く響きます。

5月、「皐月」、「薫風緑樹の候」、「May」から、6月、「水無月」、「麦秋の候」、「June」へ。学校では、始業式、入学式、家庭訪問、運動会等と目白押しの行事も一段落し、ホッと一息つかれている頃かもしれません。そして、「さあ、これから！」と教育活動の一層の充実を期されていることでしょう。



【ホトトギス】

5/24 令和4年度第1回地域学校協働本部運営委員会

【地域学校協働本部運営委員会の所掌内容】

- (1) 地域学校協働活動の運営方法の検討
- (2) 事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策等、活動プログラムの企画、事業の検証・評価等
- (3) 前号に掲げるもののほか、事業の運営に関し必要な事項に関すること

5月24日(火)、本年度第1回地域学校協働本部運営委員会が開かれました。所掌内容は上のとおりです。会議ではたくさんの意見が交換され、有り難く思いました。その中から6点を紹介します。

- ◇ (県統括アドバイザーの山平敏夫氏が、令和2年度と令和3年度の「玉名市地域学校協働活動実施報告書」から各校区の活動報告数の推移をグラフにしてくださいました。ほとんどの校区で報告数が増えています。それを受けて…)学校行事等において学校に出向く機会が少なくなったり、社会全体で人の繋がるケースが減っている中、この報告では玉名市は増えている。素晴らしいのではないかな。
- ◇ コロナ禍のため、個人としての学校との関わりはあったが、団体としての関わりが思うようにできなかった。コロナウィルスの感染状況に応じながらやり方を工夫し学校と地域の繋がりを強めていきたい。
- ◇ 学校は普段から推進員さん、学校運営協議会委員さんと小さな会話をし、活動を絶やさないことが大切。推進員さん、学校運営協議会委員さんに支援いただき、地域に繋げていただければ助かる。
- ◇ 校区の駅を核とした行事を創り上げ地域を盛り上げたい、郷土愛を育てる原点にしたい。
- ◇ (上の発表をうけ他の委員さんから)「参加」から一歩進めて、生徒が企画の段階から「参画」し、是非実現してほしい。
- ◇ 学校運営協議会では、具体的方策まで熟議してほしい。



令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画

これからの活動に活かしていきましょう。
右は本年度の事業計画です。

裏面あり



	【コーディネート機能】	【多様な活動】	【継続的な活動】
事業内容	□ 学校運営協議会との一体的推進 □ 社会に関わった教育課程を踏まえた 地域学校協働活動年間計画の作成・充実 □ 地域学校協働活動推進員の配置 (22名) □ 会議・研修会等の開催 1 地域学校協働活動推進員への委嘱状交付式 (4月4日) 2 本部事務局の学校訪問 (4月下旬) ※校長異動、推進員交代の学校を対象とする。 3 地域学校協働本部運営委員会 (5月下旬、3月下旬) 4 地域学校協働本部 (推進員・地域連携協議会担当職員) 会議 (6月、2月) 5 地域の人づくり講座 (10月～12月) ※中学校区毎に6～7回実施する。 ※推進員、地域住民を対象にワークショップ 6 中学校区推進員連絡会 (中学校区ごとに開催。事務局も積極的に参加) 7 授業参観、事業参観	□ 放課後子供教室 (6月上旬～2月下旬) 1 玉水学びの教室 2 放課後むつみ教室 □ 様々な活動 (各学校区で特色ある活動を実施) ○ 学習指導 ○ 部活動指導 ○ 環境整備 ○ 安全指導 ○ 学校行事 ○ 読み聞かせ ○ 児童生徒が参加企画している活動	□ 玉名市地域学校協働本部設置 要綱に基づく活動の実施 □ 「玉名市教育要覧」への位置づけ □ 社会に関わった教育課程を踏まえた 地域学校協働活動年間計画の作成・充実 □ 地域ボランティアの募集、地域ボランティアバンクの活用・更新 □ 事業だより、市ホームページ、市広報誌等を活用した情報提供 □ 学校、PTA、社会教育関係 団体、自治会等のネットワークを活用した周知 □ ハンドブックや参考資料・事例集を活用した地域住民や学校関係者への普及啓発、理解の促進

まずは、ここから！

状況を確認し、次のアクションへ！

下は昨年度2月にも紹介しました「学校と地域との連携・協働状況の確認」の表です。まずは状況を確認し、できるところから少しずつ次のアクションにつなげて行きましょう。進捗状況の確認に使っていただくと幸いです。

学校と地域との連携・協働状況の確認

	チェック項目	× △ ○ ◎
1	地域と学校がともにビジョンやめざす子供像を共有する熟議等を行っている。	
2	地域連携・協働活動に関する年間計画が作成されている。	
3	教職員が地域連携や協働活動の意義を共有する場がある。（研修や職員会議等）	
4	地域学校協働活動推進員との話し合いや情報共有がなされている。	
5	ボランティアルームの設置や教職員への周知など、ボランティアの活動環境が整っている。	
6	活動が子供たちにとって、体験にとどまらず、ねらいに沿った教育活動になっている。	
7	ボランティア募集や学校の教育活動、ボランティア活動の様子を情報発信している。	
8	活動継続のために、振り返りや情報の蓄積を行うなどチーム体制づくりが行われている。	
9	活動の記録を取りまとめ、次年度の年間計画の見直しに生かしている。	

お願い

上の確認表にはありませんが、年度当初、地域学校協働活動推進員さんの身分、勤務内容・勤務時間等を全部の先生方に紹介していただくと有難いです。また、子供たちや保護者、地域の方々への紹介もよろしくお願いいたします。地域学校協働活動推進員さんがスムーズに動くことのできる環境づくりをお願いします。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」でした

心配ごと、悩みごと
1人で抱えて
いませんか？

5月12日は「民生委員・児童委員の日」ということで、築山小校区・玉陵小校区の民生委員・児童委員さんが、日頃の活動を紹介するチラシとポケットティッシュを登校中の子供たちに配布されました。民生委員・児童委員の方々の活動と本事業は共に「子供の成長」を目指しており、本事業も支援してくださっています。将来の「社会の担い手」を育てようという共通の目標を持つもの同士、手を携えていきましょう。



【築山小学校にて】



【玉陵小学校にて】



編集後記

多くの人に知ってほしいです！

昨年度発行した「事業だより」を拡大し中央公民館の大研修室と3階廊下に掲示しています。市民の方々の目に留まり更なる周知につながることを願っています。このような機会があり、事務局としても有り難く思います。



【中央公民館大研修室】



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第59号
令和4年7月13日

7月になりました。令和4年も半分か過ぎました。ありきたりですが「月日が経つのは早いもの」ですね。

一点の 偽りもなく 青田あり (山口誓子)

大野牟田の道を通っていると周辺の田圃では田植えが済んでいました。張られた水がキラキラと陽の光を跳ね返し、とても美しく、瑞々しく、日本の夏の田園風景です。

例年ならこの時期、しつこいまでに雨が降るのですが、今年の梅雨はもう終わりました。そして「危険な暑さ」の毎日です。皆様、お気をつけください。

6月、「水無月」、「June」から7月、「文月」、「July」、「盛夏の候」へ。いよいよ本格的な夏です。陽の光を浴び稲の苗もグングン大きくなり収穫の秋を迎えることでしょう。



放課後むつみ教室(放課後子供教室)が始まりました

玉名市では、睦合小学校に「放課後むつみ教室」、玉水小学校に「玉水学びの教室」と2つの放課後子供教室を設置しています。

放課後子供教室とは、放課後や週末に、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境をつくる取組です。

「放課後むつみ教室」が6月30日(木)にスタートしましたので、その様子を紹介します。ぶんぶんゴマ作りです。

放課後むつみ教室

- ☆設置場所 睦合小学校
- ☆コーディネーター 今村恵子さん
- ☆安全管理員 3名
- ☆学習指導員 12名
- ☆参加人数 7名(1年生)

学習プログラム

- 06/30 ぶんぶんゴマ
- 07/07 科学遊び
- 09/01 おもしろ工作
・ことわざカルタ
- 09/08 昔の遊びをしよう
- 09/15 紙芝居作り
- 09/22 絵手紙
- 09/29 茶道①
- 10/06 マジック
- 10/13 グラウンドゴルフ
- 10/20 竹とんぼ・紙トンボ
- 10/27 茶道②
- 11/10 貝がらボックスを作ろう
- 11/24 もちつき
- 12/01 花の寄せ植え



まず、宿題を済ませます。



ぶんぶんゴマだ！早く作りたいな！



最初は色塗りだ。きれいに塗るぞ！



なかなか難しいなあ・・・



やったー！回った、回った！



校長先生もお母さんもチャレンジだ！

裏面あり

なぜ、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」なのか？

「事業だより第57号」と併せて読んでくださると有難いです。

【昨年度、聞こえてきた声】

- ◇推進員さんが気持ちよく動いていないのではないか？
- ◇学校の先生方に負担感があるのではないか？
- ◇この事業は機能しているのか？

これらには様々な要因が絡み合っていると思われます。それらを解きほぐすにはどうしたらよいのかと考えてみました。方策はこれだけではないと思われますが、その1つとして…

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することによって

地域学校協働活動をもっと見晴らしのよいものにする。

- ① 活動が「社会に開かれた教育課程」を踏まえている。
- ② 活動の目標やビジョンに関わる大人が共有している。
- ③ 活動計画があり、活動の内容や日時、支援してくださる方や参画する相手の方が分かっている。

地域学校協働の「よさ」が認知されること

子供たち、学校、地域のそれぞれにおける成果を実感することが一番の薬なのだろうと思います。

本部年間事業計画を見直しました

より分かりやすくするために

事業だより第58号で紹介した「令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画」を、6/24の本部会議で示したように改訂したいと考えました。右の表の赤い枠の部分です。今年度のテーマです。本部機能の3つの必須要件のすべてに関わっていると考えての改訂です。



令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画(改訂版)

	【コーディネート機能】	【多様な活動】	【継続的な活動】
事業内容	□学校運営協議会との一体的推進 □社会に開かれた教育課程を踏まえた地域学校協働活動年間計画の作成・充実		
	□地域学校協働活動推進員の配置（22名） □会議・研修会等の開催 1地域学校協働活動推進員への委嘱状交付式（4月4日） 2本部事務局の学校訪問（4月下旬） ※校長異動、推進員交代の学校を対象とする。 3地域学校協働本部運営委員会（5月下旬、3月下旬） 4地域学校協働本部（推進員・地域連携協働担当職員）会議（6月、2月） 5地域のつくり講座（10月～12月） ※中学校区毎に6～7回実施する。 ※推進員、地域住民対象にワークショップ 6中学校区推進員連絡会（中学校区ごとに開催。事務局も積極的に参加） 7授業参観、事業参観	□放課後子供教室（6月上旬～2月下旬） 1玉水学びの教室 2放課後むつみ教室 □様々な活動（各学校区で特色ある活動を実施） 1学習支援活動 2安全指導支援活動 3環境整備支援活動 4地域連携活動 等	□玉名市地域学校協働本部設置要綱に基づく活動の実施 □「玉名市教育要覧」への位置づけ □地域ボランティアの募集、地域ボランティアバンクの活用・更新 □事業だより、市ホームページ、市広報誌、パンフレット等を活用した情報提供、普及啓発 □学校、PTA、社会教育関係団体、自治会等のネットワークを活用した周知 □ハンドブックや参考資料・事例集等を活用した地域住民や学校関係者への普及啓発、理解の促進

学習指導要領の目標

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る

7月6日(水)の「はつらつシニア教室」の講話「今 学校で」の中で、大浜小学校の内田雅三校長先生が、「地域とともにある学校づくりを目指して、より良い地域社会づくりに貢献していきたい」と地域学校協働活動に関わる話をしてくださいました。コロナ禍のため「はつらつシニア教室」を再編した際、本事業に関するコマを削除した経緯があり有り難く思います。本事業の「よさ」を多くの人に認知してもらいたいです。事務局としても一層の啓発に努めます。皆様もそれぞれのポジションでよろしくをお願いします。

＝編集後記＝



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第60号
令和4年8月17日

立秋の 日除けふかぶか おろしけり (鈴木真砂女)

8月7日は「立秋」でしたが、それにしても今年の夏は暑いですね。外に出ると空気が熱の固まりになって襲ってくるようです。私事ですが、外で作業をする機会が多かった今年の夏、あと少しで熱中症かも…という状況に何度か陥りました。今思うと危なかったです。



匙なめて童たのしも夏氷 (山口誓子)

今月当初、地元紙に涼しげな句として載っていました。すこしでも涼しい雰囲気をお届けできますように。この夏休み、子供たちはどのように過ごしているのでしょうか。家の周辺でその姿を見かけることがあまりありませんが…。

前回号で放課後子供教室の活動がスタートしたことをお伝えしました。そして、今回号からは各校区の活動の様子を紹介していきたいと思います。今後の予定は第57号の裏面をご覧ください。

今回は玉名中学校区(滑石小、玉名町小)の活動の様子をお伝えします。

滑石小学校

5月の交通教室



地域の交通指導員の方にもきていただき、3年生以上には自転車の乗り方を、1、2年生には歩道の歩き方と横断歩道の渡り方を教えていただきました。

滑石校区のことも交えながら、気をつけることを分かりやすく教えていただきました。

6月のイモの苗植え



滑石校区の老人クラブの皆様の多大なご協力をいただき、毎年1、2年生の生活科の学習でイモの苗植えを実施しています。イモの苗植えから、お年寄りから教わるがたくさんあります。

たくさんのことを学びながら、楽しく活動しています。

昔遊びクラブ(クラブ活動)



老人クラブの皆様に、クラブ活動の時間に、昔遊びの講師になっていただき、昔遊びを教えていただいています。7月には竹の水鉄砲の作り方を実際に教えてもらい、できた水鉄砲で遊びました。

お年寄りの方に、工夫や技を教えてもらっています。

パネル展に行ってきました

8月3日まで、地域学校協働活動のモデル地域に指定されている氷川町と天草市のパネル展が県庁で開かれていました。

そこでは、CSと地域学校協働活動との一体的な取り組みが展開され、子供たちが地域づくりに参画し、地域活性化のためにアイデアを出したり、地域の方々とともに運営に携わる姿が見受けられました。

本市でも、6/24の推進員と担当職員の合同会議では「**もっと地域に出よう**」という強い風が吹きました。

本活動が地域と学校の**双方向による協働活動**として、子供たちにとって豊かな心を育むだけでなく、**人としての生き方を学び、将来の夢を育む機会**となるようにと願っています。

裏面あり

【2年生：町たんけん】



【立願寺しらざぎの足湯】



【立願寺ポニー公園】



【高瀬浦川水際緑地公園】

【子供の感想】

○ 町たんけん1(ワン)、2(ツー)、3(スリー)では、ありがとうございました。おかげでみんな楽しく安全に町たんけんができました。ポニー公園で、タイヤブランコを押したり止めたりしてくださってありがとうございました。また、町たんけん4(フォー)でもお願いします。

【3年生：町たんけん】



【学校で】



【高瀬浦川水際緑地公園】



【市役所・市民会館付近】

【子供の感想】

○たんけんの時についてきてくださってありがとうございました。私たちのために「ここが図書館だよ。」とか、「ここすごいね。」など、声をかけていただいたので、たくさん地図に書き込みました。また、たんけんに行きたいです。
○暑い中、校区たんけんの安全を見守ってくれてありがとうございました。ボランティアのみなさん、これからもボランティア活動をがんばってください。ぼくたちも勉強をがんばって立派な大人になります。
○校区たんけんに来てくださってありがとうございました。ぼくたちのことを車から守ってくださって本当にありがとうございます。きゆうけいの時間にいっしょにお話できて楽しかったし、おもしろかったです。



【2年生：野菜づくり】

【子供の感想】

○弓田先生へ
お元気ですか。野菜の育て方やミニトマトのお世話の仕方を教えてくださってありがとうございました。
私は、台風が来る前にお手伝いをしていただきうれしかったです。先生が野菜の育て方を教えているとき、私は少しドキドキしていました。どうしてかという、2年1組だけ教えてもらい、教えてもらったことを2組、3組、4組さんに教えてあげないといけないからと心配だったのです。次にまた何か教えてもらうときもしっかり聞いて覚えようと思います。ほんとうにありがとうございました。



【子供の感想】

○私たちが学校へ行くとき帰るとき、いつも見守ってくださってありがとうございます。町たんけんでも見守ってくださってありがとうございます。これからも私たちが行くときはよろしくお願いします。

【見守り：防犯ボランティア】



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第61号
令和4年8月17日

「危険な暑さ」の毎日ですが、8月は「葉月」「月見月」「木染月」「秋風月」「紅染月」「雁来月」と秋を感じる別名がいっぱいです。旧暦の8月は今の暦でおおよそ9月です。8月7日に立秋を迎え秋が訪れる時季です。



秋来ぬと目にはさやかに見えぬども風の音にぞおどろかれぬる（藤原敏行）

そう言えば、夕方、庭に出ると虫の音が聞こえてくるようになりました。暑さに参っていた薔薇の花が少し元気を取り戻しつつあるようにも感じます。吹く風に一瞬「秋」を感じたりしませんか…（あくまでも私個人の感覚です）。

学校では、前期後半がスタートします。コロナ禍だったり、暑かったりと心配事は後を絶ちませんが、安全安心を十分に配慮しながら、「出会いの花咲く学びの場」を通して（手段として）学校と地域が双方の協働活動を展開していきましょう。

今回は玉名中学校区(玉名中、築山小)の活動の様子をお伝えします。

玉名中学校

読み聞かせボランティア



毎月1回、年間に各学年3回「とわの木」の方に読み聞かせをしていただいています。現在12名(今年度新規3名)登録していただっており、社会状況や生徒に伝えたいことなど、いろいろ検討して選ばれた本を読んでくださっています。慌ただしい一日のスタートの時間帯ですが、生徒たちは、心を静めて集中して、声に耳を傾けています。生徒の心を育てる大切な時間になっています。

玉中総合教育会議



年4回、地域の方、保護者の代表と学校関係者で学校の課題や地域の方々の思いを出し合い、子供たちのため学校をよりよい方向へと導くための会議を行っています。

昨年度は、校則改定に向けて生徒の代表との熟議を行いました。それぞれの立場からの考えをたくさん聞くことができました。いただいた意見を参考にして、生徒会を中心に校則改定を進めていきました。今年度も、引き続き校則について議論できればと思っています。

築山小学校

2年生:生活科



地域ボランティアの方々に引率の協力をいただき、「山田のふじ」を見に行きました。目的は、学校の周りを歩き、地域への関わりのきっかけとすることです。帰ってきてから「山田のふじ」の様子を絵や文に表しました。

清掃ボランティア



【子供の感想】

私たちの学校をきれいにさせていただいて、とてもうれしいです。きれいになると勉強や運動を頑張ろうという気持ちになります。私たちも、美しい学校を意識して掃除など一生懸命頑張ろうと思います。

裏面あり

地域の花壇への花苗植え



ボランティアを呼びかけたところ20名近くの保護者と子供が参加。地域の方と一緒に花苗を植えました。

【参加した保護者の感想】

地域の皆様と一緒に美しい環境作りができてとてもよかったです。終わった後とても気持ちが清々しかったです。また、このような機会があったら参加したいです。

6年生:平和学習～ふるさと太平洋戦争～



講師に松村先生に来ていただき講話をしていただきました。6年生は真剣な表情で話を聞き、感想もたくさんお返していました。休憩時間も質問をしている姿が見られました。

読み聞かせ



【子供の感想】

○私は、本が好きで読み聞かせの時間がとても楽しみです。毎回楽しい話ありがとうございます。これからも面白い話や楽しい話を読み聞かせてください。夏休みの読み聞かせの会も楽しみです。

○私は、読み聞かせに来ていただいて読んでくださる話がどれも面白くて楽しみにしています。声を変えるなどしてすごいなあと思っています。そして、みんながどの角度からも本が見えるように工夫してあるので見やすかったです。

3年生:習字指導



講師に土井先生に来ていただき、「土」を書きました。全員にお手本も作っていただきました。良い作品ができあがりました。

【子供の感想】

土井先生に習字を教えていただいて字の書き方のコツを学びました。そして、字がだんだん上手に書けるようになってうれしいです。これからも頑張って練習します。本当にありがとうございます。



花づくりボランティア



花づくりボランティアの方のご協力で、ケイトウとなでしこをポットに植えていただきました。また、別の日は花摘みもしていただきました。

小物作り



講師に松澤様に来ていただき「小物作り」を行いました。子供たちは、立派なコースターができ、喜んでいました。

交通指導、挨拶運動



民生委員の松田様には毎日交通指導、挨拶運動を行っていただいています。また、先日は民生委員の皆様ティッシュ配りと挨拶運動を行っていただきました。

プール掃除



4名の地域ボランティアの方に来ていただきました。子供たちが掃除したプールの周囲を更に高圧洗浄機で清掃や草取りをしていただきました。

【先生の感想】

子供たちも頑張って掃除をしました。どうしても子供だけではなかなか全てをきれいにすることはできないので、このようなことをしていただくと大変ありがたいです。子供たちにもこのことを伝えて、感謝して学習するように伝えます。

＝編集後記＝

推進員の皆様、7月28日の玉名管内地域学校協働活動推進員等研修への出席、お疲れ様でした。その研修の際、玉名市は実践発表を行いました。この4年間を振り返る絶好の機会に恵まれたと思っています。これまでの実践を踏まえ、さらに新しい一歩を、どのような内容と定めどのような方法をもって踏み出していくのか、よく考えたいところです。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第62号
令和4年9月21日

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますように

冬の寒さは（余寒）は春分の頃まで、夏の暑さ（残暑）は秋分の頃までには和らぎ、凌ぎやすくなる、という意味の慣用句です。気象庁が「異常気象」とした今年の夏が果たして静かに引いていくのかと心配しましたが、台風14号が通過した後、一気に涼しくなりました。朝夕は寒ささえも感じます。やはり「暑さ寒さも彼岸まで」のようです。あの「肌を刺すような陽射し」と「危険な暑さ」とはここでお別れしたいものです。

日の出は遅く、日の入りは早くなりました。吹く風に秋を感じるようになり、そろそろ衣替えを考える時期に。近所の田圃の稲は頭を垂れ初め、畔には彼岸花が色を添えています。見上げると、澄み切った青空には秋の雲が浮かんでいました。



秋の雲 はてなき瑠璃の 天をゆく （山口誓子）

今年の彼岸は9月20日（火）から26日（月）まで。学校では前期の総括をされている頃かと思われます。令和4年度も折り返しを迎えています。

第62号、第63号で玉南中校区（八嘉小、伊倉小、玉南中）の活動の様子をお伝えします。

伊倉小学校



5/19 ポットに種植え



地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方々に、ポットに種を植えてもらいました。一つ一つ丁寧に作業していただきました。

6/16 花壇へ花植え



5月に種植えをして育った苗を花壇に移植していただきました。伊倉駅にも植えていただきました。



7/20 家庭科「ひと針に心をこめて」



地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方々に、5年生の家庭科「ひと針に心をこめて」の学習で、地域の方々に裁縫の仕方を教えていただきました。子供たちと共に活動出来て楽しいと語られていました。子供たちも丁寧に優しく教えてもらっていい作品ができた喜んでいました。

9/7 2年生「伊倉駅探検」



2年生の生活科「町探検」で伊倉駅を見学に行った時、地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方や JR の方々から話を聞きました。子供たちは大喜びでした。

裏面あり

八嘉小学校

2年生「まち探検」5/17



生活科の時間に、地域学校協働活動推進員の假屋さんと学校応援団の川田さん、早川さんをお招きして「まち探検」の学習を行いました。校区にお住まいの3名の方から、校区のことについて詳しく説明していただきました。

3, 4年生「玉名音頭」6月～7月



総合的な学習の時間に地域の祭りについて学習しました。その中で、玉名の盆踊りである「玉名音頭」について、玉名文化協会の林田さんを中心に地域の方に踊り方を教えていただき、8月に行われた「くまもと子ども芸術祭 in たまな」で披露しました。

4年生「八嘉夏祭りについて」6/14



祭りの立ち上げに関わられた黒田さんをお招きして、八嘉夏祭りについての学習を行いました。

【児童の感想】

夏祭りについてお話ししてくださってありがとうございました。くわしく教えてくださったのでとてもよく分かりました。1年生の時にしかやっていなかったのが祭りのことを知ることができて良かったです。

6年生「八嘉の歴史・人物について」7/20



地域にお住まいの谷口さんをお招きして、八嘉地域の歴史や人物について学ぶ学習を行いました。

【児童の感想】

八嘉小が建てられるまでの歴史を初めて知りました。花作り委員会の歴史について、道路にゴミが多かったからゴミをなくす取組を一人でしていて共感した人が一緒にしていたと言う話が心に残りました。私は皆さんの思いを知ることができて良かったです。



＝編集後記＝

ある地域学校協働本部運営委員さんと話をしていると「校区の広報誌に地域学校協働活動の様子が紹介されていました。この事業も地域に浸透しつつあるようですね」とおっしゃいました。嬉しかったです。他の校区でも同じように、本事業を支館の広報誌、学校運営協議会の広報誌、PTA新聞、学校通信・学級通信などで取り上げていただいています。また、年度末には学校と地域の協働の様子をパンフレットにまとめ市内の公共施設等で発信されている校区もあります。誠に有難いです。

この活動に関わっていただいた方々が、共通のねらいを明確に持ち、確実に歩を進めておられることによりこの活動の「よさ」が発揮され、皆様がその「よさ」を実感できている。そのことが情報を発信し合うことに繋がっているのだと考えます。これこそ「文化」ではないでしょうか。

この事業だよりの配布先には限界がある中、更に地域の隅々まで毛細血管のようにエネルギーを伝えていただいていることに感謝申し上げます。それはまた、本事業に関わって下さる大勢の方々の熱意に他なりません。感謝申し上げます。そして、これからもよろしくお願いします。

こんな大学入試問題があります。

「ある星から地球にやってきた宇宙人が、次のような質問状を残していきました。
『地球でいちばん驚いたことは、地球人が国という単位に分かれて暮っていて、国ごとに異なる制度の下で競い合っていることです。私たちの星には、国という制度ばかりか、その概念すらありません。そこでお聞きしたいのですが、地球人はなぜ国という単位に分かれて暮らすことを好むのですか？』
以上の質問状に書かれた問いに答える形で、宇宙人への返事を400字程度で書きなさい。」

2013 年度慶応義塾大学法学部 FIT 入試問題です。単なる知識の暗記だけでは答えられない問題だし、答えも一つには限定されないでしょう。そして、誰がどのように評価するのでしょうか…。

さて、皆様でしたらどのように返事を書かれますか？



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第63号
令和4年9月21日

玉南中学校から届いた下のデータを読んでいると、数日前の地元紙に載っておられた宇城市教育長であり大津高校サッカー部総監督の平岡和徳氏の講演が浮かんできました。2年前も取り上げましたが、同氏の講演を聞いた際に記録していたキーワードを前回と幾分被らせながらいくつか紹介します。

「まず、自分の課題を知れ」「1日24時間をデザインしろ」「転ぶことは悪いことではない。すぐ起き上がらないことが悪いのである」「目指すゴールのない者に進む道はない」「苦しいとき、もうダメだと思ったとき、次に何ができるか。それが力である」「変化の先にしか進化はない」「楽をして成長はない。ただ何となく…では先は見えてこない」「凡事徹底である。人間性というバックボーンができあがると積み上げられる」「感謝する心を持て。感謝しているとき、人間が一番成長しているときである」「顔見ろ。真剣さが増すと目力が増し、いい顔になる」「苦しい時、そこで止めるか乗り切るかで人生が変わる」etc.



玉南中学校

人としての生き方を学び、将来の夢を育む

2年職場体験学習(9/1～9/2)2年生 37名が19の職場に分かれ職場体験学習を行いました。



【生徒の感想】

普段、大人の人たちがしている仕事を体験して、仕事のたいへんさを実感することができた。また、気配りすることの大切さを学ぶことができた。私は将来何になりたいという夢が決まっていないので、これからの勉強など頑張りたい。社会に通用する人間になるために必要なことがわかった。

3年認知症サポーター養成講座

講師：玉名市包括支援センターの皆様



【生徒の感想】

家族を一番支えることができるのは、家族のことを一番理解している私たちだから、自尊心を傷つけない、話を合わせるなど教えてもらったことを大切にして、私たちを頼れる人だと思って欲しい。認知症は誰でもがなる可能性がある病気であるので正しく理解していくことが大切だと思った。

3年アイマスク体験

講師：社会福祉協議会の皆様



【生徒の感想】

何も見えない、どこにいるのかわからない状況はとても怖かった。障害物がないことが分かっているのに怖くて次の一歩を踏み出すことにとても時間がかかった。介助についてもらって隣の人が笑ってくれたり、危ないときは教えてくれたりすると、とても安心感が大きかった。私自身が安心してもらえるような存在になれるといいなと思った。

1年パルクール体験

講師：いだてん玉名の皆様



【生徒の感想】

今日、自分は初めてパルクールを体験してまず難しいという感想を持ちました。やっていくうちに自分が苦手なところ、動きが分かってくる、どうやったらやりやすくなるかということ、友だちやコーチのお手本を見て学ぶことができました。友だちと協力したり対決したりと、とても楽しい時間でした。

1年防災学習

講師：広瀬氏(南阿蘇防災ガイド)



【生徒の感想】

私は、熊本地震の時、大きな被害はなかったけれど、広瀬さんの話を聞いて心に残ったことがあります。それは自分が支援者となったときに「大丈夫？」ではなく、「何をすればいい？何でも言って」と困っている人に寄り添うということです。これから先このような大きな災害などで困っている人にしっかり寄り添えるようになりたいです。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第64号
令和4年10月11日

9月最後の日曜日は区役でした。自宅近くを回っていると、抜けるような青空を背景にしてコスモスが風にゆれていました。爽やかな秋晴れです。

颱風の のち日々しづか 秋桜 (山口青邨)

我が家の近くには田畑が広がっていますが、やはりこの時期、黄色くなり始めた田圃と畔に咲く赤い彼岸花の取り合わせは、日本の秋の里山の原風景です。

突き抜けて 天上の紺 曼珠沙華 (山口誓子)

清秋の候です。9月「長月」「September」から10月「神無月」「October」へ。過ごしやすい季節となりました。



玉陵小・玉陵中の活動の様子をお伝えします。

玉陵小・玉陵中一体となった活動

施設一体型小中一貫校で、学校運営協議会も小中合同です。

【小中合同学校運営協議会】



学校運営協議会12人が今年度初めての会議を実施しました。授業参観のあと学校経営の方針を承認していただき、学校の課題についての熟議を行いました。また、玉陵小学校・中学校の代表が今年度の目標を発表しました。12月には各目標の自己評価と報告して、委員の方々からの評価もいただく予定です。

【子供たちの声】みなさんの前で発表するのは緊張したけれど、この1年間玉陵小中学校がもっと良くなるようにがんばります。

【学校運営協議会の方の声】小学生も中学生も堂々と発表する姿が頼もしい。小中一緒になってこの学校をさらに盛り上げるために、我々も全力で協力していきたい。

小中合同避難訓練(地震・津波・浸水)



【安全担当職員の声】

津波が起きた時、小学生は中学校棟の3階に避難することになっています。そこで小中合同で訓練を実施し、避難の仕方や経路の確認をする必要があります。この日も中学生がリーダーシップをとり、模範となる姿を見せてくれたおかげで、小学生も真剣に避難訓練に参加することができました。

【児童の声】

- ・コロナ感染予防のため、中学校棟の3階には行けませんでした。津波のこわさを先生のお話で知ることができました。
- ・中学生の返事の声が大きく、動きも速くてカッコいいと思いました。

中学生職場体験学習



本来は保育園で職場体験をする予定だった中学生が、コロナ感染拡大のため保育園に行くことができなくなり、急遽小学校低学年で体験することになりました。小中施設一体型、職員室が同じという利点もあり、打合せや準備もスムーズにでき、小学生、中学生だけでなく小中の職員も、学ぶことの多い充実した時間となりました。

【中学生の声】

- ・今回の体験を通して、働くということは、こんなに難しいことがたくさんあるんだと思うようになりました。今回の体験を生かし、これから頑張ります。
- ・私は、ただ仕事をするのではなく、子供達の成長している姿を見ているのが楽しくてこの仕事をしているということが分かりました。先生の、一人一人にしっかり教え、時にちゃんと注意する行動が心に残りました。そして今回の体験を通して、人のために何かできるだろうかとと思うようになりました。

裏面あり

小中合同引き渡し訓練



【安全担当者の声】

小学校と中学校との担当が昨年度から計画を立てて、初めて実施することができました。小中学生のきょうだいを同時に把握し、待機場所を分担して行動させるのが難しかったです。また、地域学校協働活動推進員をととして、駐車場整理など学校運営協議会とPTAの協力が大きな力となりました。同時に小中教職員の連携の大切さを実感しました。

【保護者の声】

今日は天気も良かったこともあり、スムーズに訓練が行われたと思います。実際は大雨の中、行動するのは難しいかもしれませんが、日頃の訓練は必要だと感じました。

校内人権集会



玉陵中学校の人権集会に、玉陵小学校の6年生が参加しました。人権集会後6年生からは「自分のクラスの課題を集めて自分のクラスをより良くしようという思いがかっこ良かったです。」「いじめや差別をなくそうという思いがとても強く伝わってきました。中学生の方々はまじめに発表者の話を聞いてくれるからぼくたちも安心して発表することができました。」「などの意見がありました。

玉陵小学校

読み聞かせボランティア



月に一度、朝の10分程度、全学級で読み聞かせをしていただいています。読み聞かせには、保護者、三ツ川女性の会、たまよりひめの会の皆様にお世話になっています。

【読み聞かせをされた方の声】

- ・子供達が真剣に聞いてくれて、こちらが心洗われるようでした。これからも楽しみです。
- ・緊張しましたが、子供達がしっかり聞いてくれ、とてもうれしく思いました。
- ・コロナ感染予防のため、去年は遠慮していましたが、久々に参加できてうれしかったです。私のことを子供達が覚えていてくれて、読み聞かせをしてきてよかったと思いました。これからも読み聞かせを楽しみにしています。

丸付けボランティア



保護者の方によるボランティアで、1～3年生の児童がお世話になっています。国語の漢字や算数の計算を中心に丸をつけていただきます。その間、担任は個別指導に集中できるので、大変助かっています。子供達もボランティアの方に褒めていただいたり、教えていただいたりして喜んでいます。

【ボランティアをされた方の声】

- ・子供達の態度がよく、真剣に学ぶ姿が見られました。また「〇君のお母さん」ではなく「先生」と呼ぶようにしていただいたので、子供達の丸付けをしてもらうときの態度が変わりました。また、次の丸付けボランティアを楽しみにしています。

交通指導

見守りボランティア あいさつ運動



毎朝、登校時や下校時には、学校運営協議会の方や地域の方が交通指導や見守りボランティアをしていただいています。児童生徒の安全面だけでなく、あいさつの声の大きさについてもご指導していただいています。

また、地区ごとに(バス通学の児童はバスごとに)あいさつ運動を行っています。コロナ禍で大きな声は出せませんが、その人を見てあいさつするという、あいさつによって生じる人と人とのふれあいの良さを学んでほしいと思っています。

玉陵中学校

スクールボランティア



毎月、学校運営協議会、地域住民の方とともに学校内外の環境づくりを行っています。学校の花壇やプランターの整備や、県北病院内や新玉名駅の花壇やプランターの整備も行っています。これからも少しずつですが定期的に活動が続け、美しい環境を保っていきます。

＝編集後記＝

冒頭で「秋桜」を詠んだ句を紹介しましたが、皆様は「秋桜」を何と読まれますか？

本来「秋桜」はそのまま「あきざくら」と読んでいました。「コスモス」と読むようになったのは山口百恵さんが歌った曲「秋桜 コスモス」のヒットに由来しているそうです。「♪淡紅の秋桜が秋の日の何気ない日溜りに揺れている～」。ご存知ですか？1977年リリースですので45年前の曲です。ちょっと古かったですね…。ちなみにコスモスは明治時代初期に日本に入ってきた外来種だそうです。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第65号
令和4年11月7日

10月「神無月」「October」から、11月「霜月」「November」へ。秋の深まりを感じます。

見えそうな 金木犀の 香（か）なりけり （津川絵里子）

金木犀の香りがするが木の姿が見えない、でもまるで見えそうなほど鮮やかに金木犀の臨在を感じる…。9月下旬から10月中旬頃にかけて緑の葉にオレンジ色の花をつけた金木犀がその香りで存在感を示します。金木犀の香りがすると秋だなあと感じます。



今回は有明中学校区(大浜小、豊水小、横島小、有明中)の活動の様子を紹介します。

横島小学校

【横島の歴史をひもとこう(6年生:総合的な学習)】



横島町文化財保存顕彰会との連携

外平山展望公園から横島小校区を眺めて、干拓の歴史を具体的にお説明していただきました。経塚や石塘などについても分かりやすく教えていただきました。

児童の感想

私は、経塚や展望公園が家の近くにあるのに、何のためにあるのか知らなかったの、今回話を聞いて、いつできたのか、何のためにあるのかが、わかってよかったです。先祖や昔の人々に感謝して、胸に刻んでおきたいと思いました。

会長：沼垣堅基様のお話

子どもたちの元気さや熱心さなどに感心しました。次の現地学習も楽しみにしています。



【4Hクラブとの連携(1～3年生:いも植え、いも掘り 5年生:田植え、稲刈り)】

4Hクラブは、横島町の若き農家のみなさんでつくる団体です。



5年生児童の感想

泥が重たくて動きにくかったです。でも稲を植えるのは楽しかったです。自分が毎日食べるものを作る作業がこんなに難しいとは知りませんでした。お米を作っている人に感謝しました。

4Hクラブ代表：大家英生様のお話

私の課題として時間配分や除草作業のことが挙げられます。しかし、子供たちとの活動はとても楽しかったです。子供たちが私たちの指示をしっかり聞いて楽しそうに取り組んでくれたことがうれしかったです。

【その他の取組】

湯担い節保存会との連携(3、4年生)



運動会の中学年部で取り組んだ「表現・湯担い節」の指導にいただきました。

朗読劇よさこいクラブの取組



クラブ活動のときには横島支所に出向き、町づくり委員会の皆さんから教えていただいています。



スクールガードボランティア(登校見守り)

毎朝の児童の登校見守りや交通安全指導をしていただいています。

裏面あり

大浜小学校

【総合的な学習の時間(4年生:年紀祭5年生:菊池川の環境 6年生:大浜飛行場)】



4年生が、外嶋神社の宮司さんから、祭りのことについてお話をしていただき学びました。



5年生が、川の堤防沿いを歩きながら、加藤清正の時代からの河川改修について学びました。



6年生が、校区に残る歴史遺産について、実際に飛行場跡地等を歩きながら学びました。

【その他の取組】



学校教育を支えるために、学校運営協議会委員の方々が、児童が地域に参画できる活動等について、協議いただきました。



学校教育を支えるために、地域の有志の方々が、新入学児童全員に、図書を入れる手作りのブックカバーを贈呈してくださいました。

有明中学校

【2年生:職業講話】



10月5日(水)、大浜郵便局、豊水保育所、ひまわりテレビ、トヨタカローラ玉名店、横島小学校で働いていらっしゃる皆様(5事業所、6名)に来ていただき、2年生を対象とした職業講話を行いました。2年生は今回の「職業講話」を参考に、自分の適性にあった職業は何かを考え、その職業について調べたことをまとめ、文化祭での展示発表を行いました。

生徒の感想

・3回の講義を聞いて、どの仕事も人とのつながりや、大切にすることが大事だと分かりました。郵便局では窓口でお客さんと接していたり、トヨタでは整備士さんや受付の方も人にあたかく接していたり、ひまわりテレビでも地域の方と仲良くしていると知ったからです。
・私はどの職業も人との関わりが大切だということを学びました。周りの人がいるから自分が成長していくし、回りもどんどん成長していくんだということを感じました。
・僕は今日の講話でいろいろな考え方を学べました。でも、講話に来られた方全員が共通して今の仕事は楽しいと話されました。自分が大人になって働いたとき苦しくなることもあるかもしれないけど、楽しんで仕事をしたいと思いました。

豊水小学校

【2年生:町たんけん】



川島地区の伝統文化(神楽)



よだれかけ地蔵



大浜飛行場のお話

地域学校協働活動推進員の米崎先生に地域のゲストティーチャーとつないでいただき、地域教材を生かした学習を積み重ねています。

【その他の取組】



学力充実タイム(毎月)



読み聞かせボランティア



春花・秋花の種まき



朝の交通指導



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第66号
令和4年12月2日

11月「霜月」「November」から12月「師走」「春待月」「木枯らしの季節」「December」へ。

『木枯らしや 竹に隠れて しづまりぬ』

松尾 芭蕉

強い風が竹林では分散されて静かになっていく、まるで防風林の中にいるような冬の初めの風景が浮かんできます。

この一年もあっという間に過ぎていこうとしています。一日一日を大切にしながら頑張っていかなばと思う今日この頃です。



今回は岱明中学校区(睦合小、大野小、高道小、鍋小、岱明中)の活動の様子を紹介します。

睦合小学校



【5年:ホタル出前授業】

講師に植田様をはじめ、ホタルを守る会の方々に来て頂き学習を行いました。5月の出前授業を受けて7月の学習発表会につながりました。9月にはホタルハウスを見学して、理解を深めることができました。



【4年:大野下奴踊り出前授業】

奴踊り保存会の方に奴踊りの学習と奴踊りの披露をして頂きました。

【教師の感想】

自分が住んでいる地域の祭りのことを学び、知ることができたのは、貴重な体験と知識となりました。



【1, 2年:さつま芋の苗の植え付け】

園芸ボランティアのご協力のもとさつま芋の苗の植え付けを行いました。

【ボランティアの感想】

子供たちの笑顔を見られるのを毎年楽しみにしています。

自分たちも元気がもらえました。



【5年:防災学習】

9月茶木谷様から防災について学びました。

【先生の感想】

たくさんの写真とわかりやすいお話で防災について子供たちはたくさん学びました。情報を確かめること、日頃からの交流・つながりなど大切にしたいと思います。



【6年:戦争についての出前授業】

6年生が、戸寄先生より戦争について講話。

【子供の感想】玉名で戦争があったことを初めて知った。自分たちにも戦争は近くにあると感じた。改めて戦争は二度と起こさないようにしたい。

大野小学校



【読み聞かせ】

コロナ禍の中、しばらく実施できていなかったなか、久しぶりに読み聞かせボランティア「石ころの会」や保護者の方に読み聞かせをしていただきました。子ども達もお話を楽しみながら集中して聞いていました。



【クラブ活動】

「茶道クラブ」には、毎回、講師として黒田先生に来ていただき、お茶の点て方や作法についてご指導いただいています。作法の意味や日本の文化のよさも学びながら、回を重ねるごとに上手になっていっているところです。

裏面あり

【水辺の安全教室】



夏休み期間の水難防止を目的に、3年生以上の児童が、岱明B&G海洋センターから2名の講師に来ていただいて、着衣泳法について学びました。子ども達は、どうすれば水に浮き、命を守ることができるのかを真剣に考えながら取り組んでいました。

【地域行事への参加】



大野支館の活動でもある「どんどこ」にむけた準備（わら集め）を地域やPTAの方に指導していただきながら行いました。初めての体験に戸惑いながらも、伝統行事を受け継いでいく役割に誇りを感じながら、一生懸命わらの束をつくりました。次回は、たいまつ作りに挑戦します。

高道小学校



【3年:のりすき体験】

9月27日、3年生が地域の産業の1つである「海苔すき体験」を行いました。この授業は昨年度までは実施していませんでしたが、地域のことをもっと知ってほしいとの本校の願いを受け、推進員の寺岡さんのコーディネートのもと実現することができました。当日は本校区と鍋小校区から5名の講師に来ていただきました。「海苔を細かく刻む」「海苔をすく」「海苔を脱水する」「海苔をほす」の4つの体験を行いました。最初は潮のにおいや海苔のぬるぬるさに驚いていましたが、体験が始まると友達と協力して積極的に活動することができていました。



【全学年:いもほり】

11月1日に芋掘りを行いました。昨年度までは、本校敷地内にある畑で行っていましたが、放課後児童クラブ建設に伴い使用できなくなりましたので、地域の書道家でもある徳村さん（本校学校運営協議会会長）の畑を借りて行いました。この活動では、推進員の寺岡さんのコーディネートのもと、本校の歴代PTA会長の会（通称「芋部会」）の方々に何から何までお世話になりました。



【6年:書道での卒業制作】

11月18日、総合的な学習の時間に、地域の書道家である徳村さん（本校学校運営協議会会長）を講師に招き、書道で卒業制作を行いました。子ども達はそれぞれ自分で選んだ漢字一文字をはがきサイズの習字紙に書きました。書き上げたら徳村さんに熱いアドバイスをもらい、のびのびとした字に仕上げることができました。

この後、裏打ちをし卒業式の会場を飾る予定です。一生の思い出に残る活動になりました。

鍋小学校



【5年:のりすき体験】

5年生は岱明漁協の方達から海苔づくりについて教えていただきました。伝統的な仕事について学ぶいい機会になりました。



【6年:平和学習会】

6年生は鍋地区で実際に戦争を経験された方から当時の話を聞いて、戦争と平和について考える学習をしました。

【5年:玉名ブランドの学習】



5年生からは「玉名市の特産物を玉名ブランドとして全国に広く紹介されていることが分かりました。」などの感想が出されました。

【6年:干拓についての学習】



6年生は横島町文化財保存顕彰会の方達から、岱明や横島の干拓について学習しました。

【花の苗植え】



花づくりボランティアの地域の方達と一緒に全児童で学級園などの花の苗植えを行いました。

【5年:SDGsの学習】



5年生は、SDGsの学習を通して、今世界で起きていることやその対策を学びました。

岱明中学校

【地域の方との花の植替え】



推進員のコーディネートのもと、地域の方と一緒に校舎玄関前のロータリーの花壇に花苗を植えました。地域の方は早めに来校され、花壇を耕して肥料を入れるなどの準備をさせていただき、植え方を教わりながら作業しました。交流する姿がほほえましく、心なごむ活動となりました。

【1年:生き方教室2, 3年職業講話】



推進員のコーディネートのもと、1年生は生き方教室、2年生と3年生は職業講話を実施しました。2年生は、新型コロナウイルス感染症の影響で職場体験学習ができなかったため、代替として計画しました。それぞれの方から、貴重なお話を聞くことができ、進路について考えたり、職業について理解を深めたりすることができました。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第67号
令和5年1月13日

新しい年が始まりました。昨年もコロナの影響で活動が制限される中、各学校におかれましては、創意工夫を凝らしながら地域学校協働活動を推進していただき、感謝申し上げます。

『晴天も 猶つめたしや 寒の入』杉山杉風
空は青く晴れて晴れ渡っているものの、吹く風が冷たい冬の情景が浮かんできます。これから寒さが本格的になってきます。体調管理に気を付けてお過ごしください。



今回は、天水中学校区3校の活動の様子を紹介します

天水中学校

職業講話(全学年) 天水町に学ぶ



推進員のコーディネートのもと、地域で働いておられる方(10人)に来校していただき、お話を聞き、質問等をした。

生徒が10人程のグループを作り、2箇所をまわるブース形式で実施した。

将来、地元に残り頑張る生徒の育成のために、「天水中の卒業生であり、天水地区で働いておられる方」をお呼びしたかったのだが、講師の方の数が足らず、卒業生・天水地区という縛りを外さざるをえなかった。

〔担任の感想〕生徒は、事前に質問事項を考え、熱心に話を聞き、進路選択の一助になったと思う。

〔生徒の感想〕何か目標があるなら、それを声に出していくことが大切だと分かりました。私は友だちや家族に自分の夢を伝えて

います。そのようなことを、これからもっと大切にしていこうと思いました。上田さんは、自分のお仕事を楽しみながらやっているというのがとても伝わってきました。何事も難しく考えることなく、楽しく行動していこうと思います。自分の将来について考えることができました。

上級学校受験のための面接指導【3年生】



推進員のコーディネートのもと、3年生の面接指導を、地域の方に協力していただいた。2日間でのべ10人の方に協力していただいたので、生徒4～5人のグループに対して面接官2人という形態での練習ができた。

〔地域の方の感想〕中学生が、質問に対してしっかり答えることができ、感心しました。

〔担任等の感想〕生徒は、初見の方に面接官をしていただき、いい緊張感をもって練習ができたと思う。

〔生徒の感想〕初めて会う人だったので緊張したが、しっかり答えることができた。知らない人が面接官だったので、答えやすかった。

〔保護者の感想〕地域の方に面接指導をしていただけるのは、とてもありがたいと思いました。

小天小学校

【年間活動】登校見守り 毎週（月・木）



10月3日の登校見守りの様子です。
この日はあいさつ運動でした。
推進員の水本さんから、児童へのあいさつや教育活動での活躍をほめていただくコメントをいつももらっています。
児童は、先生の言葉に元気をもらっています。



【年間活動】外国語科・外国語活動・1・2年生読み聞かせの実践



推進員の水本さんが、外国語の読み聞かせで、七夕の英語版を1年生に聞かせていただきました。学習では、ゲームを教えてもらったり、外国に興味を持つお話を聞いたりして児童はいつも刺激をもらっています。
児童は、「知っているお話も英語で聞くと面白い。」と感想を持ちました。担任は、「外国語に親しむ機会を作っていただきありがたい。」と話しています。

【3年生のまちたんけん】 水本オレンジガーデン見学



推進員の水本さんから教えていただいたことをもとに、劇にして児童集会で発表しました。天水町の特産物であるみかんづくりについて3年生は多くのことを学びました。
児童は「ぼくのうちでもみかんをつくっている。将来ミカン農家になりたい。」と感想を持ちました。担任は「劇にすることで、水本先生から教えていただいたことが、しっかり子供たちの学びとなっていることがわかりました。」とまちたんけんを振り返りました。

玉水小学校

【1年生のタブレット学習】



1年生のタブレット支援に、推進員のコーディネートのもと、2名の保護者にパスワード入力等のタブレット学習の補助に来ていただきました。
児童は、保護者の方に来ていただき喜んで学習していました。担任も、ICT支援員と保護者の協力を得て、充実した学習ができたということでした。

3年生：尾田川についての講話



毎年、尾田川の伝説について平川氏にお越しいただき、講話をしていただいています。
児童は、身近な尾田川についてのお話を興味深く聞いていました。

オレンジてんてんお話し会



推進員のコーディネートのもと、お話し会を開催しました。児童は、エプロンシアターや読み聞かせ、パネルシアターなどを興味深く聞いていました。お話し会のメンバーの方も初めての開催に張り切って準備してくださいました。しっかり聞いてくれたと、喜んでおられました。

玉水スワッグ・リースのプレゼント



お世話になった地域の方に高学年でボランティアを募り、昼休みを活用し、スワッグやクリスマスのリースを作成しました。お話し会で世話になった方や、民生委員の方々、登校の見守りをしてくださる方や地域の養護施設などにプレゼントしました。地域の方は、子供たち手造りのプレゼントとお手紙を受け取って、とても喜んでくださいました。子供たちも喜んで受け取ってくださる姿を見て、嬉しそうでした。



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会

玉名市地域学校協働本部
事業だより第68号
令和5年2月8日

梅一輪 一輪ほどの あたたかさ （服部 嵐雪）

早いもので、もう2月。如月（きさらぎ）とも言いますが、「衣更着」が転じた説が有名です。厳しい寒さに備え重ね着をする季節という意味があります。ほかに陽気が更に来る月だから「気更来」になった説、春に向けて草木が生え始めるから「生更木」になった説があります。



それにしても、春が待ち遠しい今日この頃ですが、上の句のように少しずつ春は近づいて来ています。

さて、令和3年度より市内全小・中学校に学校運営協議会が設置されたことを受け、令和4年度から次のことをテーマとして呼びかけてきました。各校区の現状はいかがだったでしょうか？

☆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進しよう！



今年度も終盤を迎えました。「学校と地域との連携・協働状況の確認」の様式をお届けしますので、それぞれの立場で今年度を振り返ってみてください。

	チェック項目	○ △ ×
1	地域と学校がともにビジョンやめざす子供像を共有する熟議等を行っている。	
2	地域連携・協働活動に関する年間計画が作成されている。	
3	教職員が地域連携や協働活動の意義を共有する場がある。（研修や職員会議等）	
4	地域学校協働活動推進員との話し合いや情報共有がなされている。	
5	ボランティアルームの設置や教職員への周知など、ボランティアの活動環境が整っている。	
6	活動が子供たちにとって、体験にとどまらず、ねらいに沿った教育活動になっている。	
7	ボランティア募集や学校の教育活動、ボランティア活動の様子を情報発信している。	
8	活動継続のために、振り返りや情報の蓄積を行うなどチーム体制づくりが行われている。	
9	活動の記録を取りまとめ、次年度の年間計画の見直しに生かしている。	

=年度末総括のお願い=

2月17日（金）締め切りで、「令和4年度地域学校協働活動実施報告書、地域学校協働活動の取り組みの成果と今後の課題、ボランティアバンク」のデータ送信をお願いしています。ご多用とは存じますが期日までの提出をよろしくお願いいたします。

上記に掲げたコミュニティスクールと地域学校協働活動との一体的な推進は、「社会に開かれた教育課程」の実現に欠かせません。子供たちは、社会のつながりの中で学ぶことで自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感をもつことができます。実践のなかにもそのような取組ができています。

これからの学校は、社会と連携・協働した活動を充実させることがますます求められていますので、今一度これまでの活動の振り返りを行い、次年度に向けてどのように改善していけばいいのかを話し合っただけなら幸いです。

…今年度の総括が来年度へのスタートです。